

# 豊かな人間性を培う学校教育の充実



## — 「生きる力」を培う教育内容の充実 —

○教委名	吉川市教育委員会
○所在地	吉川市吉川一丁目21番地13
○TEL	048-984-3564
○E-mail	<a href="mailto:gatukou@city.yoshikawa.lg.jp">gatukou@city.yoshikawa.lg.jp</a>
○ホームページ	<a href="http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/">http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/</a>

## 1 研究主題

### (1) 研究主題

豊かな人間性を培う学校教育の充実 — 「生きる力」を培う教育内容の充実—

### (2) 研究課題の設定について

本市では、「信頼」・「連携」・「生き生き」の3つの視点から平成22年度吉川市教育行政重点施策を推進している。

<b>信頼</b>	児童生徒・保護者・地域・学校
<b>連携</b>	家庭・学校・地域社会
<b>生き生き</b>	元気（子ども・先生・学校・地域）

学校教育に関わる重点施策は「豊かな人間性を培う学校教育の充実」である。また、具体的な内容として、以下の7点について充実・支援を行う計画である。

- ①「生きる力」を培う教育内容の充実
- ②新教育課程への対応
- ③学校施設等の整備充実
- ④給食内容及び給食施設設備の充実
- ⑤健康指導・体力づくりの支援
- ⑥人権教育・同和教育の推進
- ⑦生徒指導・学校教育相談の充実

児童生徒の学力の向上は、自ら学び・考える力、豊かな人間性、健康や体力など「生きる力」を培うための重要な要素の一つと考える。

### (3) 平成21年度の学力向上推進に係る取組の成果

- 学力向上支援員、算数少数指導員の配置によりきめ細やかな指導が充実してきた。
- 教職員人材育成指針の策定により、教職員のライフステージに合わせた研修計画が実施され資質の向上が図られた。
- 教育課程検討委員会により、各校の学校課題解決プランモデル集を活用した学力向上プランの策定、新学習指導要領移行措置完全実施の確認、学力向上ワークシートの活用が図られた。

## 2 研究の実践

### (1) 学力向上に関わる取組

- ①教育内容充実事業
  - ・学力向上支援員の配置・学生ボランティアの活用、リリーフティーチャーの配置
  - ・各種学習支援員の配置（特別支援員・図書館サポートティーチャー・あおぞら相談員）
- ②教育研究会支援事業
  - ・教職員で組織された研究会への支援。教育に関する研究・研修の実施
- ③教育指導推進事業
  - ・教職員の資質の向上のための研修計画の策定
  - ・校内研修、市教委・事務所教育支援担当訪問を活用した各学校への指導・支援
  - ・吉川市各種教育推進委員の任命 ・特色ある教育推進事業

・市費による学力検査の実施（小学校国語・算数 中学校3年公的テスト）

④教育内容研究授業

・体力向上推進研究校、学習指導法改善研究校の委嘱

(2) 教職員の資質向上に向けた取組

①年次別研修「授業研究」の実施

1年次から4年次までの全教職員に対し、年度1回から2回の授業研究を行っている。授業を通し、基礎基本の徹底や学力向上の視点に立った学習指導の方法や授業の基盤である学級経営や学習規律・生徒指導等について支援し、指導力の向上を図る。また、「自己の資質の向上」「若手教員の育成」の視点から、指導者を各学校のベテラン教員に積極的に依頼をしている。

②年次別研修「生徒指導研修会」の実施

各学校において、児童生徒の学力向上を図るために基盤として「学習規律の徹底」を挙げている。このことも含めて、1年次から4年次の全教員が一同に会し、生徒指導の現状を把握し、課題解決のために積極的に行動する態度の育成のため研修会を開催している。

(3) 教育課程検討委員会から

本検討委員会で学力向上に関わる推進を行っている。本年度、第2回教育課程検討委員会では、東部教育事務所HP「学力向上支援マップ」を参考に「各校における学力向上に係る効果的な事例」について研究協議を行った。学力向上へ向けた取組は「国語科」「算数（数学）科」を中心として行われる傾向があるので、あえてそれ以外の教科の紹介も加え、各学校で実践の参考にするよう依頼した。以下は各学校からの事例の発表例。

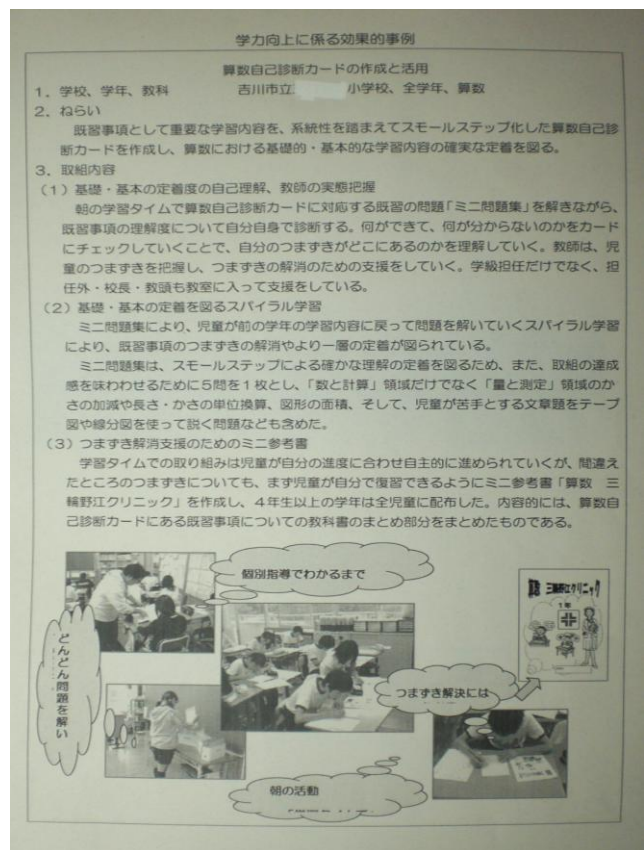
<小学校>

- 図画工作科における水彩絵の具使用法
- 算数診断カードの作成と活用
- 「食探検」―道徳・総合学習を関連―
- 学力向上を支える「学校・保護者」「教師・保護者」「教師・児童」の信頼関係
- 直接的な音楽経験を通した学習活動の展開の工夫

<中学校>

- ノートのとめ方の工夫（社会科）
- 英語スプリングコンテスト実施による基礎基本と学習習慣の定着
- 授業規律の確立を基盤とした学力向上

また、この他にも「学力向上支援マップの活用」「3つの達成目標の過去の問題の活用法・無回答率を下げる工夫」「学習コーナー（教室掲示関係）の設置」等について協議を行った。



<効果的な事例レポート（例）>

3 研究の成果

- ・各学校で学力向上への独自の取り組みが行われ、職員の意識も高まっている。
- ・少人数指導に工夫・改善があり、効果的な学習活動が展開されている。
- ・課題解決プランの効果的な活用について今後の課題とする。